

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月6日

上場取引所 JQ

上場会社名 東北特殊鋼株式会社
 コード番号 5484 URL <http://www.tohokusteel.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

(氏名) 中田 博也
 (氏名) 佐々木 茂範
 配当支払開始予定日

TEL 0224-82-1010
 平成21年11月26日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	6,763	△39.3	569	△54.1	584	△54.5	351	△67.4
21年3月期第2四半期	11,148	—	1,241	—	1,286	—	1,079	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	46.69	—
21年3月期第2四半期	143.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	19,631	12,437	63.4	1,651.85
21年3月期	19,655	12,092	61.5	1,605.85

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 12,437百万円 21年3月期 12,092百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	9.00	—	7.00	16.00
22年3月期	—	6.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,900	△28.1	1,050	△42.2	1,050	△45.0	600	△58.6	79.68

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	7,550,000株	21年3月期	7,550,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	20,464株	21年3月期	19,834株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	7,529,774株	21年3月期第2四半期	7,531,545株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があることをお含みおください。

なお、業績予想に関する事項は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産に一部持ち直しの動きが見られたものの、昨年来からの世界同時不況の影響により企業収益や雇用情勢が悪化するなど、景気は依然として厳しい状況で推移いたしました。

特殊鋼業界におきましても、主要需要先である自動車業界に一部回復の兆しが見られ始めたものの、受注水準は依然として低く、引き続き厳しい状況で推移いたしました。

このような環境の中で、当社グループの特殊鋼事業につきましては、大幅な受注の減少を補うべく、徹底したコスト削減と在庫調整の推進、ならびに生産性の向上など財務体質の強化に努めました。一方で、不動産賃貸事業につきましては、引き続きサービスの向上に努めました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は前年同四半期に比べ4,384百万円減の6,763百万円となりました。収益面では、利益確保に向けた合理化に一定の成果を上げましたが、大幅な売上高の減少により、経常利益は前年同四半期に比べ701百万円減の584百万円、四半期純利益は前年同四半期に比べ728百万円減の351百万円となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

①特殊鋼事業

売上高は前年同四半期に比べ4,286百万円減の5,719百万円、営業利益は667百万円減の87百万円となりました。

②不動産賃貸事業

売上高は前年同四半期に比べ98百万円減の1,044百万円、営業利益は5百万円減の482百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ23百万円減少し、19,631百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加額939百万円、原材料及び貯蔵品の減少額371百万円、建物及び構築物の減少額224百万円、仕掛品の減少額168百万円、商品及び製品の減少額153百万円によるものであります。

一方、当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ368百万円減少し、7,194百万円となりました。主な要因は、未払法人税等の減少額378百万円、支払手形及び買掛金の増加額314百万円、長期借入金の減少額166百万円、修繕引当金の減少額81百万円によるものであります。

また、当第2四半期連結会計期間末の純資産は、四半期純利益351百万円を主な要因として、前連結会計年度末に比べ345百万円増加し、12,437百万円となりました。以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の61.5%から1.9ポイント増加し、63.4%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度に比べ939百万円増加し、3,031百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金収支は、1,391百万円の増加（前年同四半期は1,271百万円の増加）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益584百万円に、プラス要因として、たな卸資産の減少額693百万円、減価償却費367百万円、仕入債務の増加額314百万円等、マイナス要因として、法人税等の支払額526百万円等を調整した結果によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金収支は、217百万円の減少（前年同四半期は178百万円の減少）となりました。これは、有価証券の償還による収入100百万円、有形固定資産の取得による支出315百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金収支は、234百万円の減少（前年同四半期は584百万円の減少）となりました。これは、長期借入金の返済による支出181百万円、配当金の支払額52百万円等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の景況につきましては、在庫調整の進展や各国の景気対策が下支えとなり、景気の底打ち感がさらに強まり、回復へと向かうものと見られますが、個人消費や設備投資はいまだ低水準であり、回復は限定的となることが予想されます。

特殊鋼業界におきましても、主要需要先である自動車業界の減産に底打ち感が見られるものの、建機・産業機械向け需要の低迷が続く見通しであり、依然として先行き不透明な状況が続くものと予想されます。

上記を踏まえ、平成22年3月期の業績予想につきましては、平成21年8月7日に公表しました予想値から変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,031,974	2,092,301
受取手形及び売掛金	2,636,764	2,631,434
有価証券	600,037	500,383
商品及び製品	523,633	676,683
仕掛品	718,086	886,575
原材料及び貯蔵品	572,986	944,013
繰延税金資産	239,029	277,344
その他	69,128	73,816
貸倒引当金	△356	△330
流動資産合計	8,391,285	8,082,221
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,084,019	7,308,598
機械装置及び運搬具(純額)	1,118,962	1,156,733
工具、器具及び備品(純額)	52,098	64,550
土地	1,332,688	1,332,688
建設仮勘定	292,004	169,995
有形固定資産合計	9,879,773	10,032,565
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	842,750	972,567
従業員に対する長期貸付金	2,381	3,244
繰延税金資産	254,882	292,752
その他	164,978	162,642
貸倒引当金	△2,257	△2,723
投資その他の資産合計	1,262,735	1,428,484
固定資産合計	11,240,523	11,573,071
資産合計	19,631,808	19,655,293

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,212,276	898,190
短期借入金	250,389	264,849
未払法人税等	156,654	535,072
賞与引当金	255,845	253,267
その他	429,995	505,007
流動負債合計	2,305,161	2,456,386
固定負債		
長期借入金	749,611	916,537
繰延税金負債	85,818	49,702
長期預り金	3,677,862	3,677,862
修繕引当金	309,483	391,360
退職給付引当金	17,461	15,509
役員退職慰労引当金	48,764	55,589
固定負債合計	4,889,000	5,106,559
負債合計	7,194,161	7,562,946
純資産の部		
株主資本		
資本金	827,500	827,500
資本剰余金	560,993	560,993
利益剰余金	10,898,608	10,599,741
自己株式	△17,577	△17,089
株主資本合計	12,269,524	11,971,145
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	168,122	121,200
評価・換算差額等合計	168,122	121,200
純資産合計	12,437,647	12,092,346
負債純資産合計	19,631,808	19,655,293

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	11,148,312	6,763,472
売上原価	9,230,812	5,668,998
売上総利益	1,917,500	1,094,473
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	206,372	121,501
給料及び手当	115,154	102,226
賞与引当金繰入額	66,085	52,433
退職給付費用	5,644	10,374
役員退職慰労引当金繰入額	9,338	7,475
その他	273,071	230,977
販売費及び一般管理費合計	675,667	524,987
営業利益	1,241,833	569,486
営業外収益		
受取利息	3,777	5,531
受取配当金	10,689	5,345
投資有価証券売却益	—	3,138
仕入割引	34,126	—
保険返戻金	16,761	16,850
助成金収入	—	13,048
その他	4,750	13,527
営業外収益合計	70,104	57,440
営業外費用		
支払利息	11,499	6,860
固定資産除却損	6,937	30,448
売上割引	7,202	—
その他	293	4,663
営業外費用合計	25,933	41,971
経常利益	1,286,004	584,955
特別利益		
受取補償金	554,890	—
特別利益合計	554,890	—
特別損失		
たな卸資産評価損	33,913	—
特別損失合計	33,913	—
税金等調整前四半期純利益	1,806,981	584,955
法人税、住民税及び事業税	744,159	152,357
法人税等調整額	△17,010	81,019
法人税等合計	727,148	233,377
四半期純利益	1,079,833	351,578

(第2四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
売上高	5,502,917	3,597,755
売上原価	4,594,267	2,960,627
売上総利益	908,650	637,127
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	103,988	66,218
給料及び手当	55,682	52,403
賞与引当金繰入額	33,276	26,373
退職給付費用	2,312	2,414
役員退職慰労引当金繰入額	5,644	4,264
その他	138,402	120,705
販売費及び一般管理費合計	339,305	272,379
営業利益	569,344	364,748
営業外収益		
受取利息	698	2,788
受取配当金	2,320	360
投資有価証券売却益	—	3,138
仕入割引	17,026	3,457
保険戻戻金	16,761	16,850
その他	2,551	4,791
営業外収益合計	39,358	31,385
営業外費用		
支払利息	5,474	3,327
固定資産除却損	6,937	20,611
売上割引	3,477	—
その他	292	2,665
営業外費用合計	16,180	26,604
経常利益	592,522	369,529
特別利益		
受取補償金	138,000	—
特別利益合計	138,000	—
税金等調整前四半期純利益	730,522	369,529
法人税、住民税及び事業税	404,351	119,600
法人税等調整額	△110,317	28,140
法人税等合計	294,033	147,740
四半期純利益	436,488	221,789

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,806,981	584,955
減価償却費	370,232	367,872
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△531	△439
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,684	2,577
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△18,200	△9,500
修繕引当金の増減額 (△は減少)	9,554	△81,877
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	2,455	1,952
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	3,935	△6,825
受取利息及び受取配当金	△14,466	△10,876
支払利息	11,499	6,860
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△3,138
有形固定資産除却損	6,937	30,448
売上債権の増減額 (△は増加)	93,363	△5,330
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△255,359	693,237
仕入債務の増減額 (△は減少)	117,682	314,085
未収消費税等の増減額 (△は増加)	—	33,385
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△71,267	37,570
その他の資産の増減額 (△は増加)	△53,176	△34,124
その他の負債の増減額 (△は減少)	△41,119	△7,604
小計	1,971,205	1,913,229
利息及び配当金の受取額	16,525	11,368
利息の支払額	△11,434	△6,881
法人税等の支払額	△705,275	△526,154
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,271,021	1,391,562
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	200,000	100,000
有形固定資産の取得による支出	△317,578	△315,493
有形固定資産の除却による支出	—	△15,718
無形固定資産の取得による支出	△40,740	—
投資有価証券の取得による支出	△24,299	—
投資有価証券の売却による収入	—	8,100
投資有価証券の償還による収入	2,870	3,000
貸付けによる支出	△500	△700
貸付金の回収による収入	1,581	1,563
その他	—	2,160
投資活動によるキャッシュ・フロー	△178,666	△217,088
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△500,198	△181,386
自己株式の取得による支出	△952	△488
配当金の支払額	△82,900	△52,926
財務活動によるキャッシュ・フロー	△584,051	△234,800
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	508,303	939,673
現金及び現金同等物の期首残高	1,454,358	2,092,301
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,962,662	3,031,974

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第2四半期連結会計期間（自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日）

	特殊鋼事業 (千円)	不動産賃貸 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売 上 高					
(1) 外部顧客に対する売上高	4,974,983	527,934	5,502,917	(-)	5,502,917
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	-	-	-	(-)	-
計	4,974,983	527,934	5,502,917	(-)	5,502,917
営 業 利 益	329,079	240,265	569,344	(-)	569,344

当第2四半期連結会計期間（自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日）

	特殊鋼事業 (千円)	不動産賃貸 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売 上 高					
(1) 外部顧客に対する売上高	3,075,603	522,152	3,597,755	(-)	3,597,755
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	-	-	-	(-)	-
計	3,075,603	522,152	3,597,755	(-)	3,597,755
営 業 利 益	118,221	246,526	364,748	(-)	364,748

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

	特殊鋼事業 (千円)	不動産賃貸 事業(千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結(千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	10,005,830	1,142,482	11,148,312	(-)	11,148,312
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	-	-	-	(-)	-
計	10,005,830	1,142,482	11,148,312	(-)	11,148,312
営業利益	754,317	487,515	1,241,833	(-)	1,241,833

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

	特殊鋼事業 (千円)	不動産賃貸 事業(千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結(千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	5,719,325	1,044,146	6,763,472	(-)	6,763,472
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	-	-	-	(-)	-
計	5,719,325	1,044,146	6,763,472	(-)	6,763,472
営業利益	87,132	482,354	569,486	(-)	569,486

(注) 1. 事業区分は、市場の類似性等を基に、「特殊鋼事業」と「不動産賃貸事業」とに区分しております。

2. 各事業の主な製品

[特殊鋼事業]

特殊鋼鋼材……耐熱鋼、磁性材料、ステンレス鋼、合金鋼等

加工製品……機械加工品

熱処理加工……熱処理品

[不動産賃貸事業]

土地賃貸、建物等賃貸、メンテナンス業

3. 配賦不能営業費用はありません

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。